

前立腺がん検診を実施します！

前立腺がんは、前立腺肥大症とともに中高年の男性が注意すべき病気のひとつで、全国的に患者数、死亡者数ともに急増し、周防大島町でも毎年数名の方が前立腺がんで命を落とされています。

初期には自覚症状がほとんどみられず、進行すると骨や他の臓器への転移がみられるため、検診を受け早期に発見することが大切です。

そこで、今年度から前立腺がん検診を実施いたします。この機会に、是非受診してください。

○対象となる方

町内に住所を有する50歳以上の男性（平成24年3月31日現在）

※50歳から70歳の方は、是非受診されるようお勧めします。

○受診方法

町内の委託医療機関で検診を行います。（国民健康保険、後期高齢者医療被保険者については、特定健康診査・健康診査実施と併せて検診を行います。）

希望する医療機関に予約をして受けてください。

○検査方法

血液検査を行い、血液中のPSA値（前立腺特異抗原値）を測定します。

○持参するもの

- ・自己負担金 1500円
- ・健康保険証

※国民健康保険、後期高齢者医療被保険者以外の方は、公的機関が発行した、住所が分かるもの。

（例）運転免許証など

○実施期間

6月1日～平成24年3月31日まで

○委託医療機関

前ページ（P8）に掲載してある、特定健診・健康診査実施医療機関と同じ医療機関で実施します。

■問い合わせ

健康増進課 健康づくり班
☎0820（77）5504

シリーズでお知らせします②
特定健診の検査項目を知っていますか？

「血清クレアチニン検査」って何？

血液中に含まれるクレアチンはタンパク質の老廃物の一種で、腎臓でろ過されて尿として排泄されます。腎臓の機能が低下すると血液中に溜まったままになり、数値が高くなります。

腎臓の機能を調べる血中のクレアチニン値を調べることで、腎臓の有効な検査ができます。

近年、腎臓の働きが徐々に低下していく「慢性腎臓病（CKD）」が増加しています。現在成人の8人に1人が発症している身近な病気です。初期段階ではほとんど自覚症状がなく、静かに進行するため、気付いた時には症状がかなり進行していることが多く、人工透析が必要となることも少なくありません。

高血圧や糖尿病などの生活習慣病が慢性腎臓病の発症に大きく影響をしています。また慢性腎臓病により心臓や血管に負担がかかるため、心筋梗塞、心不全、脳卒中の発症の危険性も高くなります。

メタボリックシンドロームの診断基準の「肥満」・「高血圧」・

「高血糖」・「脂質異常」は慢性腎臓病の危険因子で、メタボリックシンドロームと関係の深い病気です。生活習慣を見直すことで慢性腎臓病の発症や重症化を予防することができます。

慢性腎臓病は自覚症状が出にくいので、定期的に健診を受けることが早期発見につながります。

平成23年度の特定健診は6月1日(水)から始まります。ぜひ特定健診と特定保健指導を利用して慢性腎臓病の発症・重症化を予防しましょう。

■問い合わせ

健康増進課 健康づくり班
☎0820（77）5504